

緑友会コミュニケーション誌

FRIENDS OF GREEN

フレンズ オブ グリーン

1996年11月発行

No. 91

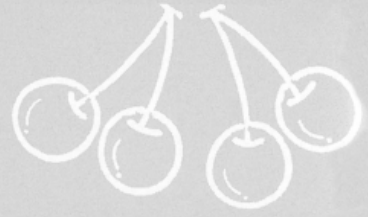
青森県青森市平新田森越17-1
発行人 長尾 良宜 青森県印刷青年経営者会議
編集人 茨城印刷緑友会



第39回 全国印刷緑友会 山形総会

第39回

山形総会開催される



H8.5.25 天童ホテル

五月晴れ。この言葉は緑友会の総会の為にあるのかと思えるくらい晴れた日が多い総会日。今年も御多分にもれず山形の地はオプションルツアーが行なわれた24日から総会日当日の25日さくらんぼ狩りの26日までの晴天続きでした。

小森コーポレーションの工場見学に参加したメンバーが「印刷機が高いのは理解できるよ。」と言いながら、このオートメーション全盛の時代に最後は手作業で作り上げる印刷機について説明してくれました。

式典に続いて始まった総会は、利根川議長のいつにも増した名舵取りによりスムーズに進行し5つの議案はすべて可決されました。特筆すべき事と言えば決算報告における長年の懸案を長尾会長が解決したことである。

今回の総会は総会議事の他に地元、山形印刷研修会がもう一つのメインイベントとして情報ネットワーク推進委員によるパネルディスカッションがおこなわれたが、これについては後頁で別にご紹介します。そしてその後にグループ長、常任幹事会が開かれた。

懇親会は浴衣姿になって天童温泉の夜を満喫しながら友情を深める夜となった。



緑友情報ネットワークの活用と グループの活性化



全国印刷緑友会
会長 長尾 良宜

全国印刷緑友会の会員の皆様には益々お元気でご活躍の事とお慶び申し上げます。又、緑友会に對しまして日頃より多大なるご支援、ご協力を頂いております事に心から感謝申し上げます。

さて、先日、山形県天童市の天童ホテルに於いて開催されました第39回山形総会では全国から32グループの会員の皆様にご参加を頂き、7年度の事業報告並びに決算報告又、8年度の事業計画・予算をご承認頂きまして新年度をスタートする事ができました事に心から感謝申し上げます。特に総会後の情報ネットワーク推進委員の皆様方によるパネルディスカッションに於きましては、専門の分野で豊富な知識と経験をお持ちで大変すばらしいご活躍をされておられる皆様から最新の業界情報と自社紹介をして頂き、緑友の仲間としての心強さを感じられた事と思います。総会を主管して頂きました山形印刷研修会のグループの皆様方に改めて心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、私達印刷業界を取り巻く環境は長引く景気の低迷、昨年来の度重なる用紙の値上げ等依然として厳しい状況が続いております。加えてハードソフトを含めた技術革新の波は大変なスピードで進んでおり、プリプレスのデジタル化は他産業を巻き込んで「印刷」の概念を大きく変えつつあるのは皆様ご承知の通りであります。

この様な変化の激しい混迷の中で、経営の基盤を確立しつつ、デジタル化へ対応する為にどの様に行動していったら良いのか大変難しい選択を迫られており、解決してゆかねばならない課題が山積しております。この様な変化の激しい社会・経済環境の時こそ、全国の緑友会の仲間が緑友の友情と信頼を深め、青年印刷人として明日の業界を大いに語り合い、情報交換を通じて相互研鑽し、エネルギーな行動力でネットワークを構築していかなければなりません。この様な意味を含めて、今年度の方針として「緑友情報ネットワークの活用とグループの活性化」を掲げさせて頂きました。各グループが活性化して頂く事が緑友会の発展につながると確信しております。各グループに於かれましては、情報ネットワーク推進委員の皆様を例会等にお招きして、多いに情報交換し、自己のチャレンジ&トレーニングの気持ちで、感性を向上させて頂き、さらに緑友ネットワークの輪を広げて頂けます様お願い申し上げます。

今後とも、緑友会にご支援・ご協力賜ります様お願い申しあげ、会員の皆様方のご事業のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平成7年度 緑友会事業報告

事業	日時	場所	参加数	主管
第38回長崎総会	平成7年5月13日(土)	長崎「ホテルグリーンコースト長崎」	34グループ 134名	長崎青年印刷人会
第38回熊本大会	平成7年8月4日(金)	熊本「阿蘇プリンスホテル」	37グループ 337名	熊本県印刷緑友会
第38回金沢セミナー	平成8年2月17日(土)	金沢「金沢市民芸術ホール」	36グループ 247名	金沢青年印刷人クラブ

平成7年度 常任幹事会・グループ長会議報告

内容	第1回 グループ長会議	第1回 常任幹事会	第2回 グループ長会議	第3回 グループ長会議	第2回 常任幹事会
日時	平成7年5月13日(土)	平成7年7月8日(土)	平成7年8月5日(土)	平成7年11月11日(土)	平成8年3月10日(日)
場所	ホテルグリーンコースト長崎	小森コーポレーション	阿蘇プリンスホテル	天童ホテル	サンメンバーズホテル 東京新宿
議事	1.グループ長紹介 2.名古屋セミナー収支報告 3.長崎総会報告 4.熊本大会について 5.金沢セミナーについて 6.山形総会について 7.各担当常任幹事より報告 7.各グループよりの連絡事項 8.情報ネットワーク推進委員 9.その他	1.長崎総会報告 2.熊本大会について 3.金沢セミナーについて 4.山形総会について 5.40周年記念大会準備状況 6.今後の事業計画について 7.その他	1.長崎総会報告 2.熊本大会について 3.金沢セミナーについて 4.山形総会について 5.40周年記念大会準備状況 6.今後の事業計画について 7.その他	1.金沢セミナーについて 2.山形総会について 3.熊本大会報告 4.次年度総会開催地について 5.40周年記念大会準備状況 6.情報ネットワーク推進委員について 7.名簿クリーニング&増刷について 8.会費未納グループ対策について 9.その他	1.金沢セミナー報告 2.山形総会について 3.次年度総会開催地について 4.山梨大会について 5.大阪セミナーについて 6.40周年記念大会準備状況 7.名簿クリーニング&増刷について 8.その他

平成7年度 決算報告書

(平成7年4月1日～平成8年3月31日)

収入の部 (単位:円)

科目	金額	摘要
前期繰越金	500,222	
会費収入	3,301,200	40グループ基本会費 (40×27,000) = 1,080,000 会員数 (1,234×1,800) = 2,221,200
特別収入	400,000	熊本大会補助金戻し分
受取利息	46,424	会員名簿会計より繰り入れ
合計	4,249,315	

(未収金 4グループ 198,000)

支出の部 (単位:円)

科目	金額	予算額	摘要
総会補助金	400,000	400,000	長崎総会 (7.5.13)
大会補助金	400,000	400,000	熊本大会 (7.8.4)
セミナー補助金	300,000	300,000	金沢セミナー (8.2.17)
機関誌「緑友」	927,000	927,000	フレンズオブグリーン (88号・89号・90号)
名簿増刷費	362,234	400,000	
ビデオ補助金	300,000	300,000	長崎総会・金沢セミナー
会議費補助金	200,000	200,000	
会計事務費	100,000	100,000	
総務事務費	100,000	100,000	
書記事務費	100,000	100,000	
渉外事務費	100,000	100,000	
名簿事務費	100,000	100,000	
印刷通信費	180,271	120,000	
会長活動費補助	200,000	200,000	
特別損失	324,000		会費徴収不能分
次期繰越金	155,810	313,442	
合計	4,249,315	4,060,442	

緑友基金明細

(平成8年3月31日現在)

(単位：円)

科目	金額	摘要
定期預金	5,939,002	大和銀行 お茶の水支店
受取利息	46,279	大和銀行 お茶の水支店
現残高	5,985,281	

会員名簿 会計報告

(平成6年4月1日～平成7年3月31日)

(単位：円)

科目	収入	支出	残高
前年度繰越金	176,424		
標語ポスター作成費		130,000	
名簿追加作成費		46,424	
金額	176,424	176,424	0

今回でこの会計は終了いたします。

平成8年度 事業計画(案)

全国印刷緑友会は、全国各地の46の青年印刷人グループの相互信頼にもとづく横の連携機関で總會・大会・セミナーを通じて自らが求めてふれ合い、語り合い、同じ業界の青年印刷人として喜びや悩みを分かち合う、心と心のふれ合う同志的結合体であります。又、各行事の中でお互いが経営・技術の情報交換と交歓を図り個々(各グループ)が刺激し合い、協力し合い、自己実現の喜びに向かって自己感性の向上・自己啓発・研鑽を積む場であります。

平成8年度の方針

「緑友情報ネットワークの活用とグループの活性化」

- 第39回定期総会**
 主管：山形印刷研修会
 日時：平成8年5月25日(土)
 場所：山形県天童市
 天童ホテル
- 第39回全国大会**
 主管：やまなし印刷若人会
 日時：平成8年10月19日(土)・20日(日)
 場所：山梨県甲府湯村温泉郷
 常盤ホテル
- 第30回セミナー**
 主管：常任理事会
 運営：大阪青年印刷人クラブ
 神戸印刷若人会
 日時：平成9年2月8日(土)
 場所：神戸市
 産業振興センター
- 機関誌**
 「FRIENDS OF GREEN」発行
 編集：茨城印刷緑友会
 91号：平成8年7月発行
 92号：平成8年11月発行
 93号：平成9年3月発行
- 常任幹事会**
 第1回 平成8年6月29日(土)
 神戸(予定)
 第2回 平成8年9月
 東京(予定)
 「プリンティング96
 東京」に併せて
 第3回 平成9年3月
 東京(予定)
- グループ長会議**
 第1回 平成8年5月25日(土)
 山形県：天童ホテル
 第2回 平成8年10月20日(日)
 山梨県：常盤ホテル
 第3回 未定
- その他会の目的に必要な事項**

平成8年度 予算(案)

(平成8年4月1日～平成9年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科目	金額	摘要
前期繰越金	155,810	
会費収入	3,499,200	44グループ基本会費(44×27,000) = 1,188,000 会員数 (1,284×1,800) = 2,311,200
合計	3,655,010	

支出の部

科目	予算額	摘要
總會補助金	400,000	山形總會(8.5.25)
大会補助金	400,000	山梨大会(8.10.19)
セミナー補助金	300,000	大阪セミナー(9.2.8)
機関紙「緑友」	927,000	フレンズオブグリーン(91号・92号・93号)
名簿増刷費	200,000	大阪セミナー
ビデオ補助金	200,000	
会議費補助金	100,000	
会計事務費	100,000	
総務事務費	100,000	
書記事務費	100,000	
渉外事務費	50,000	
名簿事務費	50,000	
広報事務費	50,000	
印刷通信費	70,000	
会長活動費補助	200,000	
次期繰越金	408,010	
合計	3,655,010	

山形総会・パネルディスカッション

今回の山形総会では長尾会長の平成8年度の方針「緑友情報ネットワークの活用とグループの活性化」を受け情報ネットワーク推進委員7人全員によるパネルディスカッションが開かれた。2時間という限られた時間内で全員の講演内容をくわしく語っていただくのは無理であろうということから情報ネットワーク推進委員の宣伝、広告を主にしたパネルディスカッションとしたが、それでも内容はしっかりと伝わったのではと思われた。全員の発言を一字一句載せたいが、紙面の都合上まとめ上げた要点を中心にさせて頂く。

(司会) 本日の司会を担当します茨城印刷緑友会の小倉です。よろしくお願いします。まず始めに長尾会長より一言ご挨拶頂きます。

(長尾) 先程の総会ではご承認ありがとうございました。さて緑友会発展の為に、何と言っても各グループの活性化が大切であり、できるだけ多くの会員に緑友の友情を伝えたいと考え、これを実現する為にそれぞれの分野で活躍しておられる方々に全国各グループに訪問して頂き業界の最新の情報交換を通じて、グループの又、個人の研鑽になって頂ければと



長尾 良宜氏

思います。(中略) 本日は、委員の皆様のご自己アピールというスタンスのパネルディスカッションです。よろしくお願いします。

(司会) ありがとうございます。それでは早速始めたいと思いますが、今日の為に前もってアンケート調査をしました。そのお答えの中に佐藤達也さんより楽しい一時をすごしましょうとありました。どうか皆さん肩の力をぬいて気楽にお過ごし下さい。ではまずトップバッター岡田吉生さんです。事前アンケートの中で次の様な質問をいたしました。情報ネットワーク推進委員の方々の講演を聞くと仕事、経営というものを真剣に考えている姿が見えてきますが、仕事、経営というものをどの様にお考えですか?そして、岡田さんのお答えは、「自分のやりたい事を会社の経営を通して実現する。」でした。

(岡田) オチを担当したいんでトップバッターはイヤなんです。岡崎市にあるブラザー印刷(株)の岡田吉生です。昨年6月に山梨で講演させていただきデジタル化の引き金をひくデジカメブームをおこしてきました



岡田 吉生氏

た。9月に山形で「印刷ハルマゲドン」と題して講演しましてこれはF of G 89号に載ってます。11月に北海道で「印刷の無くなる日」と題しパワーブックでインターネットにアクセスをしてみました。今年に入って1月に青森で、この時は而立会の棚橋さんと



いっしょに行ってきました。3月には長崎で講演時間が6時間あると言われてデジカメとパワーブックを使った講演をしてきました。講演で話すことを少し言わせて頂くとすれば「人の成功事例を見ても成功しないし、失敗事例を見ても失敗しないということはない。」ということで、つまり自分のやりたい事をやるということです。

(司会) ありがとうございます。次に佐藤達也さんをご紹介します。先程と同じ質問に対するお答えは「う〜ん むずかしいよ小倉さん。しいて言えば印刷業界の混沌とした方向性に対していち早く情報をキャッチできるか、今までの発想では世の中の流れについていけず印刷という殻を思いきって破れるか。でもでもでもね、とつても楽しく先行き明るく色々な情報媒体の中心的役割にもなれるグレードな業界ではないでしょうか。」ということです。

(佐藤) 岡田さんの後はやりづらいな。横浜から参りました佐藤です。会社はまだ10年目の新しい会社です。今までに山梨と茨城さんへおじゃましてお話をさせていただきましたが、会社設立の時からなん



佐藤 達也氏

ですが印刷機なんかなくていいんじゃないのという様な発想の会社で体質が違うと思うんです。社長と私以外全員20代の社員で非常に安定感のない会社なのですが、印刷会社の方や器材屋さんなんかと話していると「できる。できる。できる。」という話が多くて具体的に「できた。」という話をあまり聞かないのですが基本的には「できた。」という話しかできませんので、それも低レベルでこのぐらいの事なら少し勇気を持ってばできるんでは、というお話をさせていただきます。印刷業界で色々な方とお話をすると後向きな考え方の人が多く、皆はDTPやってるけど私は分らないなどという話が出てくるんですが、私はこんな楽しい業界はないと思ってます。すべての仕事がオーダーメイドで100%手作りというのは他にないです。自分達が作ったものが町の中で見られますが、他業界はたとえば車を作っているにしてもビスだけとかで走っている車を見ても達成感はないと思う。印刷の場合は非常に達成感があるステキな業界と思ってます。そんな業界だからこそ、今の自社の流れをお話して、この程度のヤツがこんなことをしてるんならすぐ明日から始めちゃおうと思われ、是非やって頂きたいと思います。

実際の話歴史もなく印刷のイの字ぐらいしか知らないメンバーがほとんどで会社の中はMacを使ったフルデジタルDTPで組んでまして昨年2月にEプリントを導入しましたが、私も社長も人と同じ事をやるのはイヤで、儲かるかどうか分らないがまずは入れてみようと思えました。オンデマンドは句でして入れてはみたんですがまだ稼働率は低く今までの考え方ではペイしない、この機械は使えないということですが、企画力、提案力が必要と思われれます。どんどんお客さんにPRしていかないと乗ってくれないというのが最近の実感です。この様にEプリントにつ

いては導入から昨日までの涙、涙の話をさせて頂いています。皆さんも一度、自分の顔写真でも撮ってEプリントで刷ってみてはいかがでしょう。

(司会) 次に白井慶吾さんです。そして質問の答ですが「情報テクノロジーを利用する場合2つの原則がある。1つ、効率的な事業に導入すればより効率がよくなる。2つ、非効率的な事業に導入とればより効率が悪くなる。つまり経営戦略や仕事の仕方を見直す事。」です。

(白井) 小倉さん5分ですよ。少し長く感じますが、

エッ7分。とにかく5分。ゴフンと言えは龍角散。龍角散の社長は藤井さんという方で講演を聞いた方がいると思いますが、古くからあ



白井 慶吾氏

という粉を売ってらっしゃる。企業経営としては何の変化もないんです。印刷業界も同じ様にず〜っと同じ事をしているんです。変化しなさいとは言いません。同じ事をしている中で平行して違う事をやらなければならない業界です。同じ事を続けていく事がパワーです。体質改善の必要はありません。六本木にケントスというディスコがあります。20年も前からやっています。社長とぼくは仲が良いんです。その社長のポリシーは休まない事です。ケントスは休みがない。いつ行ってもやってるぞ。とケントスの人気をささえてきたんです。それが大阪、福岡、札幌にもあります。印刷業も同じです。24時間仕事してないとダメなんです。でも人の力ですし、労働基準法もありますからそうはいかない。そうしたらメディアの力、コンピューターの力を借ります。ぼくがこの頃言っているのは従業員の数より電話回線の数。電話回線を得意先に専用回線で24時間つないで月5万円です。百万円の機械をリースで得意先に置いて月2万円です。10万円もかけずに得意先とひもつきです。これが印刷業界の秘訣です。

美しい人生よ 月 限りない喜びよ」コンピューターにはメモリーを、これを人呼んで愛のメモリーと呼んでます。白井を呼んで頂ければ皆様に愛のメモリーを!

(司会) プレッシャーがかかっています。次の講師米倉伸三さんを紹介します。質問のお答えは次の通りです。「経営に対する自分のスタンスを明確にする事が大事だと思います。つまり何の為にという目的をとりあえずでも決めてみると後は手段の選択になると思いますが。」という御意見です。

(米倉) 米倉です。全国で6グループほど、ある所では2

度まで呼んで話を聞いて頂いたのですが、交流分析という話をベースにしまして聞いてもらわないとわかりません。このビジネスだけで3億円以上仕事



米倉 伸三氏

させてもらったんですがある人はブームだと言いますが決してブームではありませんし、企業のアイデンティティー、自分自身のアイデンティティー、これを企業という箱を通してどんなふう達成していくのかがとても楽しい人生だと思っています。人は人の間でしか喜びや悲しみはない、そこで自分自身を知りながら、人を変えるのではなくて、自分を変える事によって、その場ができその場が何かをつくり出すというような話をさせてもらっています。精神内科と言うと精神分析、精神に病気を持ってしまった人達が何らかの形で先生方にアドバイスを受けるといものですが、これに対して交流分析は診療内科という分野でセラフィストと呼ばれる人達がしています。私も少しお手伝いさせていただきますけれども、自分自身がいついつからこういう考え方を持ったんだろうか、この様な事を3才から15・16才の頃の自分を分析していただいてその中からどんなエネルギーが分布しているのかをグラフに表わします。これをエゴグラフと言いますが、これ

を見て自分の在り方、自分の生きる目的という事をクリエイトしてもらおう。それにエネルギーを加え、企業と社員との間にどんな関係をつくったかを表現してみる。

この様な話をさせてもらいますので質問はむずかしいと思いますが、聞いた人達は半分の人にはわからない。残りの半分の中にはそうだと理解できる人もいますが、だいたい話は聞いた事があるし知っているけど理解まではいかない、又理解したけど行動できない、やりたくない色々ですが、自分自身が自分の中の自分をわかりはじめると知らない間にその事に引っ張られていく、という事があります。自分では抵抗していても、もう1人の自分の発見ということに生き生きとしてくる事があります。色々な資料をそれぞれの方にやってもらいその分布を見ていただき気付いて頂くという話をしています。

(司会) 次に逸見節夫さんをご紹介します。質問に対するお答えは「儲ける事だよ。」でした。

(逸見) どうも逸見です。順番からいくと何か下がって上

がって下がって上がってということで下がらなきやいけないんですけど。もともとハチャメチャですからどこから話していいかわからないんですが、今、小倉さんが

言ったのはうそで、好きな事をやるよと、勝っていくらだよと言いました。「勝っていくらだよ。」というのは大学出てから10年間、大日本印刷にいたんですけど今の社長の親父さんにかわいがられてまして「世の中食うか食われるかという時は食わなきやならない。勝っていくらだよ。」と教わりました。うちの経営方針はこれなんです、東京の人が見ると「お前、これ大阪人だよ。」と言われるんですが、大阪の人来てますからゴメンナサン。まず儲けるんだよと書いてあります。これ読みますけど、一、利

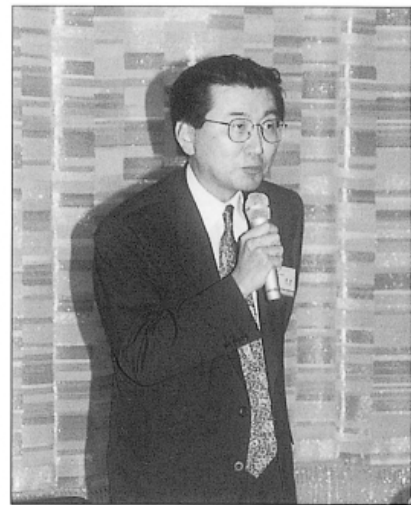


逸見 節夫氏

益を出す。二、分配還元、これはお金と時間で戻す。三、こういう世の中になってもつぶれない安定した会社を作れ。よそが一番上げる和が四番目です。五は当人のやりがいとか夢、希望で、最後はオレより給料高くなる訳ないから仕事覚えたら分社です。だからうちのグループになっている会社が40社ぐらいあります。創業57~8年で200何人いて女の子が150何人で平均年齢25.7~8才です。白井さんの話の24時間開けておけというのは大賛成ですがうちではできません。年間140日休んでますが、2週間の休みを年4回とるという形で消化してます。とにかく儲けて分けるという事で、面接の時からお前俺と合うか、俺はこういうタチだけドイヤならやめていいよ、やりたかったらこい。我がままなのかな。好きな人とだけやりたい。金が欲しけりや働け、お前らが自分で働いた分は持つていけ。俺が払うんじゃない。という事です。それからうちの業界のありがたい事ですが、大日本印刷の様な横綱と我々、幕下クラスでも五分に相撲が取れて負かす事もできるというのが面白い。佐藤さんと切り口が違いますけど、面白い業界でやりがいがあると思います。それから当社にはこういう5項目がありますんで読んでおきます。一、生産を落とさず。一、納期を延ばさず。一、残業を増やさず。一、人を増やさず。一、賃金を下げず。これがクリアできれば給料も上げるし休みも増やすよと。世の中と反対の事やってて非常に変わってると言われますがぼくはこれが王道だと思つてやっています。以上です。

(司会) ありがとうございます。次に間直樹さんをご紹介します。質問に対するお答えです。「経営とは経を営むと書く、真理の道を追求めし、事業を通じてつながっているすべての者との共生をはかる道。」というお答えです。

(間) 福岡から参りました間でございます。初めてですので自己紹介などをしながら話したいと思います。私が社長になりましたのが



間 直樹氏

5年前の41才の時未熟な経営者ですので特に皆さんにお話する様な事はございませんが、私共の会社が地元では一応知名度があり注目されているという訳で、これは私の力ではございませんが、結果的にここに立っているのではと思います。当社は創業80周年、関連会社としてシティ情報誌を発行してますプランニング秀巧社とかTVコマーシャルを制作するアップルクリエイションなどをもち、特に企画制作に力を入れて事業をしています。最近ではチケット販売、インターネットのからみでの仕事をさせて頂いております。一寸見栄をはって売上の方を申し上げますと全部足すと100億円といったところです。マーケティングプランからのお手伝いとかクリエイティブな仕事を中心に手間がかかる割には売上げが上がらないという様な仕事をさせて頂いておりますが、現場の方ではやりがいを持って頑張ってくれています。

私が話させて頂くとすればこんな事しかないかなと思っておりますが、来月8日に80周年式典があり、その時に発表する事にしてはいるのですが経営理念という事でお話したいと思っております。この5年間経営理念というものを考えてきたのですが、ここで明文化をしようと考えました。経営とは何かという部分で自分の会社の経営の中で経営の道、経営道というものを学び、これをきわめる努力のプロセスの中で自分の人生を楽しみながら社員の、お客様の、そして地域の役に立ちたい、それが自分の人生の目的であると考えてに至りました。これに基づいて経営理念を発表するつもりでおります。私達は文化情報産業人として常に質の高いコミュニケーションのお手伝いをさせて頂き地域の文化社会の発展に貢献する事、そしてこの事業を通して社員の生涯教育の場を求め生活の安定を追求し社員の物心両面での安定を追求するという事。それを私共の事業目的とする、そして経営理念として、この会社の事業目的に志を同じくする全社員に対して会社は絶対的な責任があります。お客様からありがとうと感謝される仕事をして初めてこの責任を果たしたと言えます。私達は進取の精神でその責任を果たしてまいります。私達は個性豊かな一人一人の集合体であります。このコミュニケーションはやさしくなければならないのです。他方承引、良い人と交わっているといつのまにかよい結果にめぐまれます。だから私達は秀巧社とそこに関わるすべての人達、すべての出会いに感謝してこの出会いが益々発展する様に縁あって私達を支えてくれる今のすべてのものを私達自身の力で増々すばらしいものにする様に努力します。心楽しく仕事

厳しく、という事でこの経営理念を発表します。この理念について話をさせて頂くと一時間程になると思います。この考え方に至るプロセスの話を、つまり私にこの考え方を持たせてくれた出会いをご紹介しますと、まず1人は京セラの稲盛会長で今盛和塾というのが全国にありまして、そこで京セラのフィロソフィーというものを伝えてますが、私も福岡で勉強させて頂いてます。それから他には、神渡良平さん、中村天風さん、安岡正篤さんとかのすばらしい本があります。読まれると参考になると思います。それからもう1人。日蓮宗の上人で竹内日祥さんという方が東京、大阪、福岡で経営人間学講座を主催されてますが、この方の話を聞くと自分の人生観がガラッと変わってしまうようなすばらしい話が聞けます。自分の潜在意識が引き出される、そんなショックを受ける話が聞けます。もう一人国際キリスト教大学の石川光男物理学教授もすばらしい考えを持っておられ「自分から、自分らしくまわりの為に、まわりとのつながりの中に生きる道がある、これを大事にしなければ地球は危ない亡んでしまう。」と説いてますがこれもまさに経営の考え方に通じるものがあると思われまます。簡単に紹介させて頂くとすればこんなことですが中身についてはそれぞれ本を読んで頂き、機会があれば私の方でお話させて頂き、先程から聞いてますと皆さん他の委員の方はお話が上手なんでなんで私がここにいるのかとまだ思っています、とにかく与えられた役割であれば一生懸命やろうと思っておりますのでどうぞよろしく願います。

(司会) ありがとうございます。最後に井上さんをご紹介します。井上さんの質問への答えは「濱出家でしょうか。一生勉強の連続の様な気がします。私は一番未熟者ですが皆さんのご意見に興味があります。」ということです。

(井上) こんにちは、山梨印刷若人会で今度山梨大会の実行委員長をやらせて頂きます井上です。どちらかというとそちらの話をいっぱいしたいんですが、アド井上の専務の井上と申します。諸先輩方のお話を聞いているとドキドキしてどうしようもないんですが、とにかく自己紹介、会社は30人ぐらいの小さな会社で創業は明治41年、今年88周年です。ちっこい町の印刷屋をずっとやってまして昭和53年頃に株式会社にしてデザインとか写植、オフセットをやって5~6年前からDTPをやってすごく一般的な流れの会社だと自分では思っています。今年は88周年なので平成8年8月8日に8が5つ並ぶんで展示会とセミナーを企画してましてアップルとかアドビとか今年

はネット
スケープ
あたりを
呼んで9
月10日と
セミナー
をやる
と思っ
ていま
すんで
いらっ
しゃれ
る方は
是非
と思っ
ていま
す。
今は印
刷の
仕事
をして
ない



井上 雅博氏

状態で社長というか親父には怒られっぱなしですが、アップルパブリッシングパートナーなんとかという販売店教育の講師をして全国を歩かせてもらってます。今年7月1日2日と仙台の方へ、6月22日には神奈川正和会さんが中華街で遊ばないかということなので行きたいと思えます。又、メインの仕事はインターネット関連でしてサーバーを立ち上げてプロバイダーをやっています。ダイヤルアップはやってませんが、サーバーレンタルをやってみて自分がお話をできるとすればこの部分かなと思えます。でもどちらかという立派な諸先輩がいらっしゃって、たとえば先程の岡田さんが言った山梨講演ではすぐに感化されてデジタルカメラ買っちゃったんですね。今31才でまだまだ失敗していいかなと思っていますんで呼んでいただける所があれば逆にお話を聞きたいと強く思っています。後は山梨大会ですね。是非遊びに来て下さい。よろしくお願ひします。

この後、実際に情報ネットワーク推進委員の方を呼んで講演会を開いたグループの方々に感想やご意見を発表して頂きました。

(司会) 委員の方、何か言い忘れたことはありますか。

(逸見) この業界は儲からない、大変だ、と言っていますが死ぬ程の思いでやっている人はいないと思う。対外的にそう言っていないといけないと思っているのではないか。うちは基本的に群れない。人と同じ事をやらない。と考えてますし、これができるとお金はもらえるし相手の役に立てば喜ばれます。非常にいい業界と思いますが、人と同じ事をやっているのはダメです。

(岡田) 仕事は皆さんと同じ受注産業の楽しさを謳歌して

います。推進委員をやって楽しい事つてのは私自身が楽しんでいるんで聞いてくれた皆さんも楽しいと

言う事で
内容には
ふれても
らえませ
んが。こ
の前山梨
に行きま
してアド
井上さん
に行きま
した。
何のこ
とはない
会社です
けど好き
な会社な
んです。何
が好きか



小倉 克夫氏

って会社に考え方があるんです。さつきは先輩方におされてちょこつと話してひっこんじやいましたけど、こういう所でインターネットとかマルチメディアとか話しているよりやつちやつた方が早いからやつちやつたのが井上君だと思うんです。

井上君を持ち上げる会ではないですが、ここに推進委員の方は考え方、メッセージというものを持っていて、ある方は理念という言葉で表現されていますが、マルチメディアというものが水道管でメッセージが中の水だと思うんです。その2つの軸で考えると自分の会社がどの辺にいるかという事を考えるとメッセージ型なのかメディア型なのか。それを表現する上で4色機を使うのかDTPを使うのかという事です。自分に合わなければいくらデジタルを使ってもダメです。それを強く感じてます。たまたまうちがデジタル化してますんで、最近「デジタルはおよばざるが如し」と作ったんですが、1文字50銭でこれ7円なんですけど…。デジタルって通信とか色々表現方法になるんでその辺のポジションにある会社はやっておこななきゃならないと思います。最初の白井さんのカッコイイまとめ「効率的な事業に導入すればより効率が良くなる。非効率的な事業に導入すればより効率が悪くなる。」これはその通りで順番でいけば「コンピューターつておいしいな。」と腑に落ちた事がなかったら、DTPだ、マックだ、と言っても失敗します。これは大事なインフラというかりテラシーというか基礎力なんです。優先順位

はその会社がコンピューターを日頃の基幹業務で使いこなすという事です。それから私は呼ばれて話してきますけど経営者さんは、よい話でした、楽しかったです、為になりましたとか言うのですが、具体的な話は決して出てこないんです。井上君はちゃんと名刺に書いてますね。EメールとURLのアドレス。私もURLのアドレスだけは書いておくんですが講演すると参加した社員さんから必ずメールがくるんです。時代はそうなっているんです。通信は人の会社を骨ヌキにする様なパワーを持っています。主催者の謝辞よりもメールで送られてくる感想の方がいかに楽しくて内容があるか実感してます。それから電話回線が人数を上回るというのはその通りでうちも1人やめたら5台MAC買ってます。費用変わりません。だから経営にも経営の理論があつて現場と同じように手を汚す仕事がある。カッコいい言い方をすればそんな事をず〜とやってきたつもりなんで、そんな話をさせてもらう事ができると思います。

—ここで仙台刷親会の江馬さんより質問—

今、講演するとすればどの様な題がよいですか。

(岡田) 通信の話。タイトルは1文字50銭でいかようにも。

(佐藤) 特にないが自社事例の話。あとはオンデマンド。タイトルは適当に考えてもらってます。

(白井) 印刷屋の壁を越える(アメリカ人になる最後のチャンス)つまりアメリカ人にならないと印刷屋の壁は越えられないという事です。

(米倉) 再構築。もう一つは、経営の技術と心のマネジメント。自分自身を知るところから始まる話です。

(逸見) こまかい機械の話以外ならあわせませす。

(間) 自分の会社の過去事例とつながりという事、ネットワークに関して

(井上) インターネットビジネスの現在、メディア業界の今後。

—終りにあたりまして—

(司会) 講師の方に対して全国の方々の感想をアンケートよりご紹介します。その1、一般の印刷会社とはまったく違う発想から成り立っている気がします。又会社に特異性を持たせて又そこに的を絞っていく運営体制をつくっていく事が大事であると思うしそれをすでに実現していた講師はりつぱだと思う。その2、過去の苦勞、現在も続いている苦勞が分かる気がします。それを打開する苦勞を色々な部分でやってい

る講師に大変感心しました。その3、今まで一般的に講師と言われる人は講演の時に話の落とし処、泣かせ処を心得て、これらの手法を上手に使い聞き手を感嘆させ涙を流させ内容の良し悪に関係なく今日の話は良かったと錯覚を起こさせておりました。そしてこの古典的な手法である良い話を最高の話に変化させる話の錬金術を巧みに使い聴衆を満足させる事が普通みたいでしたが、講師の場合は違い、これからは講演会も手取り足取りの話より自分自身で課題を持ち研究する姿勢での講演会に変わっていくのではないのでしょうか。先進的かもしれませんが万人受けする話より聞きたい人の心に残る話をこれからも続けてもらう事をお願いします。以上が全国の方々のご意見です。最後にここでもう一度、講師に対しての質問を読みます。皆さんの講演を聞いていると仕事、経営という事を真剣に考えている姿が見えてきますが、経営という事に関してどの様にお考えでしょうか。という質問でした。これに対して一つ一つお答え頂きましたけど、共通点というのはこの事に対して問題意識を持っている方々が前に座っている方々です。先程から逸見さんが言っていた「人と同じ事はやらない。群れない。」という事を実践なさっている方々がこの方々と思います。そしてそのお話が皆さん違うのはその手法はいくらでもあるからその中で得意分野がこの分野なんだよという話をしてくれる方々と思っております。最後に今回のパネルディスカッションに当り講師の方と共に全国緑友の中で不特定多数の方にアンケートを頂きました。この方々にも感謝申し上げます。その中の一通をご紹介します。追信で「早くからご依頼を受けておりましたが遅くなり申し訳ありません。実は昨日追突事故に遭い頭がボーツとして参考になるかどうかわかりませんがよろしくお願ひします。」という言葉が添えられた答えもありました。こんな状況でもお返事頂き有難うございました。これも緑友のネットワークではないでしょうか。



平成7年度 第3回常任幹事会議

平成 8年3月10日
サンメンバーズ東京新宿

1. 会長挨拶

2. 東京プロセス製版青樹会山田会長挨拶
前日の25周年行事のお礼の言葉があった。

3. 金沢セミナー報告

36グループ247名参加のお礼があった(中村氏)。
別紙、決算報告(西野氏)について審議した。
※原則として ①1週間以内のキャンセルは受けつけない。②事前振込の徹底を計る。
の2点を再確認した。

4. 山形総会について

別紙式次第案、予算案(若月氏)について検討した。
①綱領唱和は、仙台刷親会江馬君と決定した。
②グループ長会議はオブザーバ参加可能とする。
③総会前日の小森マシナリー高畠工場見学会(オプション)の集合場所は、山形空港と米沢駅の2カ所とした。

5. 9年度総会開催地について

長野青年印刷人緑友会と決定した。開催地は長野市を予定している。(竹内氏)
日程は①平成9年5月24日②平成9年5月17日で検討する。

6. 山梨大会について(依田氏)

従来型の講演会に替えて、インターネットを使ったテレビ会議(パネルディスカッション形式)を考えている。
講師(パネラー)は著名人と交渉中。
撮影にもデジタルカメラを使用する等、全体をデジタル塾としているが、会場やサーバーの容量により設置する機器に限界があり、山形総会のグループ長会議に詳細プランの提出を願うこととした。

7. 大阪セミナーについて(大阪一宮城氏、神戸一岸氏)

神戸復興支援セミナーとして、大阪青年印刷人クラブと神戸印刷若人会とで運営にあたる。

- ①日 程 平成9年2月8日(土)
- ②会 場 神戸市産業振興センター
- ③内 容 講演2講を予定
第1講 神戸企画調整課 木村氏 - 決定
(神戸国際マルチメディア文化都市構想について)
第2講 講師交渉中

④登録料 12,000円

8. 周年行事について

神戸40周年 6月29日(土)
沖縄20周年・九州山口大会 7月5日(金)

9. 次回常任幹事会議

6月29日 神戸にて

10. 会員名簿クリーニングについて

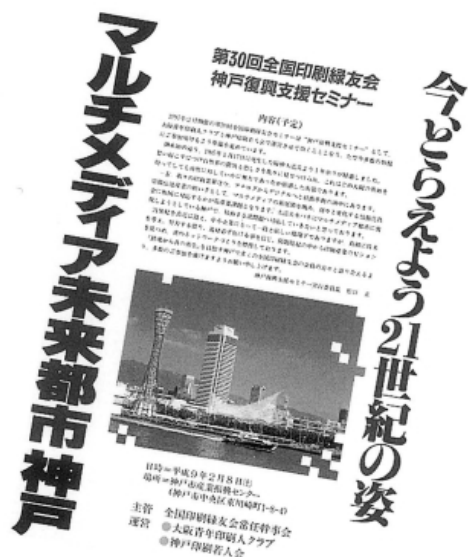
別紙、緑友会名簿作成報告書(棚橋氏)について審議。

11. 40周年東京大会準備状況について(小森氏)

準備委員会も4回を経過し、去る3月7日第1回目の実行委員会を開き、下記委員を決定した。
実行委員長 芝崎氏(千代田印刷人新世会)
副実行委員長 小宮山氏(印刷同友会)
書 記 大内氏(東京プロセス製版青樹会)
開催日は平成9年8月2日(土)を予定しているが、会場については未定である。

12. その他

- ・富山にアプローチ中(金沢 中村氏)
- ・岩手にアプローチ中(仙台 江馬氏、山形 若月氏)
- ・奈良・和歌山にアプローチ中(大阪 井下氏)
- ・ネットワーク推進委員活動報告 3月15日佐藤氏茨城へ



平成8年度 第1回グループ長常任幹事会議

平成8年5月25日
天童ホテル

1. 金沢セミナー報告

中村君よりお礼の言葉があった。

2. 山形総会報告

32グループ122名の参加があり、若月君よりお礼と懇親会の予定の報告があった。

3. 山梨大会について

- ①甲府駅での送迎を予定している。
- ②講演は遠隔地とインターネットを使ったものを考えている。講師は、アップルコンピュータのパブリッシング部長か、ネットスケープ社のマーケティング本部長かを検討中。時間は30分から1時間で、会場からも2・3人出てもらい、プロジェクターで対談風にする予定。
- ③ワイン試飲コーナーを設ける。インターネットカフェとして、誰でも触れるコンピュータを何台か置くつもりです。
- ④撮影は、デジタルカメラとピクトログラフィーを使ってその場で撮影し、その場で持ち帰ってもらう予定。
- ⑤懇親会のアトラクションとして、名古屋而立会バンドに出演をお願いしています。
佐藤氏より、大会なので家族のためのものを用意してほしいと、要望があった。
- ⑥人数は250名を予定している。

4. 大阪セミナーについて

- ①神戸復興支援セミナーとして行う。講師は木村義秀氏(神戸市企画調整局調整部調整課長)と、田中和宏氏(アドビシステムジャパン)を検討している。
- ②会場は、神戸市産業振興センターを仮契約、懇親会は、ニューオータニを予定している。

- ③登録料は12,000円(250名) 宿泊は10,000円(シングルではなく、ツインで)程度。

5. 長野総会及び40周年東京大会準備状況

長野総会は、1997年5月24日(土)長野市内のホテル国際21、登録料23,000円(宿泊込)の予定。

40周年東京大会は、1997年8月2日(土)ホテル日航東京。5:30集合、新しいスタイルで女性に心くばりをし、気楽な形式にしたい。3時間で式典と懇親会を一緒にしたい。登録料は未定だが5~600人を予定している。

6. その他

第38回東北青年印刷人連絡協議会秋田大会平成8年9月21・22日

福井は会費は払うが1年休会したい。

名簿のクリーニング継続のため新データは棚橋氏に送る。

総務幹事に平成8年度グループ長&会計担当資料を送付する。



行事報告

（神戸印刷若人会40周年式典）



主催：神戸印刷若人会
日時：平成8年6月29日
会場：神戸外国クラブ

普通の周年行事をするのも会の一致団結が必要なのに大震災後すぐにこの様に立派で明るい式典をするとは。高木実行委員長の地元の言葉で「しょうもないカッコ」が明るい式典のはじまり。そして最後の大会唱。愛はきつと勝つ「ガンパロー 神戸！」



（第14回九州・山口青年印刷人沖縄大会 沖縄県印刷若潮会設立20周年記念式典）

「りっか沖縄かい 語らな青年達」を合言葉にいつも明るいメンバーがいつにも増して頑張りました。めったに見られぬエイサーを真剣に踊る姿に、最後のプールダイビングに沖縄の若さを感じさせる大会でした。

主催：沖縄県印刷若潮会
日時：平成8年7月5日
会場：パシフィックホテル沖縄



リレーエッセイ

長尾会長の方針「友情と研鑽」 研鑽は情報ネットワーク推進委員が主役
友情の主役はこのリレーエッセイがとめます。

熊本県印刷緑友会 中央印刷紙工(株) 藤井直樹

「やつと、着いたか。結構、でかいな。重いな。」独り言である。
先日、我が家にコンピューターが着いたのだ。これで3代目である。私の記憶が正しければ、中学校に入学した頃、インベーダーゲームが流行していた。1ゲーム100円という金額は、私にとって高価であったが、友人が遊んでいるのを眺めていた。遊んだこともあるが、不器用だったのですぐ終了し、それで高価であると感じていたのだろう。その頃、人の器用さと機械の凄さを感じた。このゲームは、コンピューターというものでコントロールされているらしいと聞いたのが、コンピューターとの出会いであったような気がする。初めて目にしたコンピューターは、TK80というボードコンピューターであった。当時、中学生が衝動買いできるほどの価格ではなく、現在のよう形からかけ離れた物であった。その後、成長し再びコンピューターとお付き合いできるようになったのは、大学生になってからのことである。最初に授業で触ったのが、PC8001という機械である。Basic言語を用いて処理を行うのである。画面上に短い線を描く、その線の上部に1ドット点を描き、さらに下部の1ドットを消してやる。この処理を繰り返すと、画面上を下から上に線が動くのである。1本のミサイルが、画面を飛んだ！うれしいものである。他人から見れば何のこともないのであるが……しかし、インベーダーゲームの様な物は、全く作ることが出来なかった。当時、ゲームを作成するのに機械語を用いたのだ。機械語？コンピューターに「あ！」と言えば「うん！」というレスポンスで答えてくれる言葉である。私が使っていた言語は、「あ！」と言えば英語で「あ！」→中国語で「あ！」→再び日本語で「あ！」といういろいろと変換されて機械が、やつと「うん！」と答えるようなものであった。つまり、遅いのである。
しかし、頭の足りない私には、機械語など理解できる代物ではなく、ゲームを作ろうなどという夢は、崩れさったのである。しかし、コンピューターゲームで遊ぶという行為は、今でも残っている。学生時代、どこから入手したのかわからないゲームで夜遅くまで遊んでいたのが、染み着いているのか、困ったものだ。ゲームで遊んでいると、かなり力が入ってしまうもので、私も学校のキーボードを折ってしまった。そのような場合、瞬間接着剤で補修した。それでも懲りずにまたゲームをしてしまう。よっぽど、暇であったのか、猿だったのか、その両方であるような気がする。どうにか、大学を卒業し、就職となった。地方出身者が、東京で生活することとなったのだ。就職先は、某大手企業の子会社。コンピューター会社であった。就職するまで、通学で電車を使ったことがない人間が、東京の通勤電車に乗ることになった。話では聞いていたが、経験してその凄さに驚いた。私は、日比谷線の先、草加市に住むこととなった。後で知ったことだが、その

路線は東京でもかなり混むことで有名であった。某大手企業のコンピュータールーム。覗いてビックリ。とにかくデカイ！凄いのである。(上には上があるが……) まだ、井戸の中の蛙なのである。

仕事としてコンピューターに関わり、大変勉強になったと思っている。しかし、仕事の中身は厳しい。とにかく動かさないとイケないのである。日中、オンラインで処理が行われ、夜、バッチでさらに処理される。トラブルも発生する。そのトラブル対処が、仕事であった。夜間バッチ中のトラブルは、寝ていようが、何していようが、電話で叩き起こされる。電話口で対応出来ない場合、会社まで出かけることになってしまう。夜間に対応出来ない場合、次の日オンラインが載せられないという最悪の事態になってしまうのである。しかし、常時トラブルが発生するわけではなく、通常はユーザーからの変更要求に応えるべくソフトの改造を行っていた。ユーザーというものは、わがままである。この時、痛感した。ユーザーは、早くほしがるものである。これまた、痛感した。そういえば、そこでの仕事もオーダーメイドであった。

退社後、ちよつと寄り道して田舎に戻りパソコンを購入し、それが2代目であった。2代目は、何のトラブルもなく無事に3代目に引き継いだ。3代目は、到着後しばらく(2週間ぐらい)は、付き合ってくれた。が……何が悪いのか、ディスククラッシュが発生した。3代目で初めての経験である。運も悪く、中身のバックアップも取っていない始末。顔面蒼白になったが、すんなりあきらめてしまった。修復不可能なことは不可能なのだ。後日、交換用のディスクが届いた。付け替えて、ディスクはまともに動き出したが、今度はCDROMが、動かないではないか。これほどトラブルが起こるPCとは、初めての出会いである。現在、トラブルは未解決状態。今度、CDROMが直ったら次はどこであろうか。困ったものだ。そのPCは、某米国PCメーカーの製品である。3代目が危ないというのは、本当かもしれない……

そう言う私も3代目になるかもしれない。

次号の担当は

岸 徹さん(神戸印刷若人会)
日新堂印刷専務取締役
神戸市中央区橘通1-1-9
TEL 078-341-2241
FAX 078-371-3876